

特集・コラム ■覚えておこう雨の時の対処法■ ■

最近の夏コミでは、残念ながら『3日に1日は雨が降る』というケースが続いている。とはいっても色々あるわけで、今回は真っ向勝負で雨対策に取り組んでみよう。

■原則！行列では傘は使用しない■

入場待機列、サークルや企業の販売待機列を問わず、極力詰めて作られる行列で傘を使うと、傘から流れ落ちた雨水が周囲を直撃してしまう。

誰だっていきなり首筋や靴の中や荷物に水を流し込まれたくはない。

さらに、傘の骨の先端は四方八方（平均的な傘の骨の本数は8本）に対してもうど目や顔の高さあたりに突き出した立派な凶器で、毎回その傘の骨の先で痛い思いをする人が絶えない。あなたがちょっと動いた瞬間、周囲で悲鳴があがるかもしれないのだ。

場所が場所だけに大事に至る危険性も高く、そうなったらケガをした人、させた人共に、その日一日を棒に振ってしまう（もちろん、それではすまない場合もありうる）し、また、閉じていても濡れたままの傘や長い傘を無造作に持ち歩くのは時としてかなりの危険や迷惑にもなる。

待機列、列移動時など混みあった空間では傘を使わないよう積極的に心がけ、傘だけに頼らない雨対策を考えよう。

もちろん、そういう混みあった場所以外で使うために、傘そのものを用意すること自体はなんら問題はない。ただし、往々にしてコミケット会場やその周辺は、駅を含めて既に過密空間であり、傘を持っている以上自分でなくその前後左右まで含めてその責任を負わねばならないことは理解しよう。



■状況別対策 1：朝(前夜)から雨の場合■

コミケット当日、前夜から早朝の時点で雨が降っている場合には、開場までの長時間を真夏とはいっても未明という1日で最も冷え込む時間帯を雨の中で待機するというプランは、コミケットへの参加経験を問わず可能な限り見直した方が賢明だ。

よほど慣れた人でない限り（そしてそういう人は、装備の選択も的確なのが）、雨の中に長時間置かれるとなんらかの体調不良や極度の疲労状態に陥る危険性はきわめて高くなるのだ。

あなたの目的は待機することではなく、コミケットに参加することなハズだ。待機時間に体力を消耗し、救護室や救急車のお世話になるくらいなら、最初からそういう無理な待機をしないようにスケジュールを調整する方がはるかに有効ではないだろうか。

現在のところ、10:00の開場から屋外の一般入場待機列が無くなるまでの時間は平均して100分前後というところだ。これは雨天時には若干増加する数字だが、一旦入場が始まれば、行列はどんどん移動していく。

つまり、同じある程度の時間を雨の中ですごすにしても、開場前からの待機と開場後に来場しての行列では、必要な装備も体力の消耗度合も、全く異なるものになるということは知っておいて損はないだろう。

以下のリストを見てほしいが、長時間待機のプランでは会場内で行動するための装備に加え、雨対策の重装備を用意しておかなくてはならず、その分かさばった荷物は自分にとって体力の消耗を早めるだけではなく、周囲の人にとってもヘヴィなストレス源になるのだ。

●長時間待機を前提とした装備

完全防水（可能な限り防水透湿素材）のレインウェア（ズボンと上着が別になっているタイプが良い）カポンチョまたは裾の長いレインコート、大き目のタオル、普通のタオル2, 3枚、防水の靴、ポリエステル系生地の長袖シャツ、靴下、綿100%以外のズボン/スカート、帽子、折りたたみ椅子、小さい折りたたみ傘、行動食やお弁当と飲み物、防水性能のあるカバン、何らかの暇つぶしグッズ

●短時間の待機、行動を前提とした装備

防水または撥水性能をもった上着/ヤッケ/パーカーなど、折りたたみ傘、タオル2, 3枚、防水/撥水の靴、防水性能のあるカバン、帽子、行動食やお菓子類と飲み物